

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	守屋木材株式会社		
事業所の名称	守屋木材株式会社		
事業所の所在地	仙台市宮城野区原町6-1-16		
主たる事業	総合工事業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	17.0 t-CO ₂	基準原単位	2.566
		目標年度	2022 年度	目標排出量	16.4 t-CO ₂	目標原単位
			削減率	3.52 %	削減率	3.35 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	18.0 t-CO ₂	排出原単位	2.717
			削減率	-5.89 %	削減率	-5.89 %
		排出量等の増減理由 6月の平均気温の上昇(22.8℃から25.7℃)や8月の真夏日増加(15日から19日)など気温の上昇に伴うエアコン使用頻度の増加が電気使用量増加に繋がっていると考えられる。				
	第2年度	2021 年度	排出量	16.0 t-CO ₂	排出原単位	2.415
			削減率	5.88 %	削減率	5.88 %
		排出量等の増減理由 気温の上昇などエアコン使用頻度が多くなっているだけでなく、感染対策のために定時に全面換気をしているため、節電量の増加はないものの、定期的な啓蒙活動により社員に節電の意識が根付き徹底されているため、維持できている。				
	第3年度	2022 年度	排出量	15.0 t-CO ₂	排出原単位	2.264
		削減率	11.76 %	削減率	11.76 %	
	排出量等の増減理由 引き続きエアコンの使用頻度が多く、コロナ感染対策のため定時に全面換気をしていたが、社員の節電の意識が根付いて不要な電気使用は見られていない。扇風機を利用した空気の循環で効率的な空調の利用ができておりCO2削減にもつながったと思われる。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	80 %	目標年度	100 %
	第1年度	81 %	実施状況の説明等	管理台帳の整備など実施できていないが、実施済の項目については継続できている。
	第2年度	81 %	実施状況の説明等	管理台帳の整備など実施できていないが、実施済の項目については継続できている。
	第3年度	81 %	実施状況の説明等	管理台帳の整備など実施できていないが、実施済の項目については継続できている。空調の使用について温度計を設置し使用ルールを周知しているが、気温の記録はしていない。

様式第2号

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外気冷房		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	森林の保全・緑化の推進	守屋木材グループで年1回の「供養造林」を社有林にて実施し、社員とその家族が参加して刈払いや植栽をして森林整備活動を行っている。	実施済
	森林の保全・緑化の推進	社内の空地を利用して野菜を育て、社員に売ったお金を貯えて、被災した防風林などの植林のための苗木代として寄付を行っている。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	社内で排出されるゴミを分別し、リサイクルを推進している。	実施済
	環境マネジメントシステムの導入	大衡工場で「みちのくEMS」認証を取得している。	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	エコにこゴールドマイスターの認定	実施済
	グリーン調達の実施	グリーン製品の購入	実施済